

クラス番号	635	担当教員名	岡 多枝子
テーマ	福祉教育・子ども・ボランティア・地域福祉・KJ 法— 学校教育に「ふくし」の理念を —		
著書・論文 研究課題等	著書「高校福祉科と介護福祉マンパワー」田村真広・保正友子編著『高校福祉科卒業生のライフコース—持続する福祉マインドとキャリア発達』ミネルヴァ書房 2008（共著）／「福祉科の学習指導」硯川真旬・佐藤豊道・柿本誠編著『福祉科教育法』ミネルヴァ書房 2004（共著）／『「生きる力」輝け—若者たちへのエール—』WWR 研究会編『「ひとり」を支える女性たち』学文社 2004（共著）／「高等学校福祉教育における『総合的な学習』の一実践」論文「高校時代の進路選択から見た高大接続福祉教育」日本福祉教育・ボランティア学習学会研究紀要 2010／「大学における社会福祉教育としてのサービ斯拉ーニング」ふくしと教育 2010 研究課題 ① 高校福祉科教員や中社公民、特別支援学校教員、スクールソーシャルワーカー、教育ボランティア、教育インターンシップ、メンターなど学校・教育実践、地震対策や防災教育、総合学習 ② 子どもを巡る福祉課題と支援（児童虐待や子どもの貧困、しょうがいなど福祉的支援） ③ 性教育、学力づくり、サービ斯拉ーニング、KJ 法、キャリア教育、B 型肝炎、いじめ		
ゼミナール概要			
キーワード：高校福祉科教員、特別支援学校教員、子ども支援のできる社会福祉士、福祉教育、ボランティア、スクールソーシャルワークの分かる教員、KJ 法、サービ斯拉ーニング、NPO、B 型肝炎、いじめ			
目的、内容、方法等：			
① 高校福祉科教員や中学社会科・高校公民、特別支援学校教員、スクールソーシャルワーカー、教育ボランティア、教育インターンシップ、メンターなど学校教育にかかわる専門職の専門性の追求やネットワーク、地震対策や防災教育、総合的な学習の時間の計画と実施などを通じた実証的研究と調査を行う ② 子ども虐待や貧困、しょうがいなどの福祉的課題と支援のあり方を考察し、現地調査や当事者の子どもとともに取り組む教材づくりなど、ゼミ生の問題関心に沿った研究実践を行う ③ 幼稚園・保育所・小学校・中学校・高校・大学という子どもの育ちに重要な意味をもつ場において、福祉教育と特別支援教育に関する実践的研究や現地調査・教育ボランティア・教育インターンシップ			
授業計画：			
① 上記の内容を、ゼミ生の興味関心や希望を出し合いながら進めていく ② 岡ゼミの上級生（4 年生）や下級生（1・2 年生）との合同の学びの場を設けて、異年齢や多様な学生の学びあいを深める。2013 年度は、「学会」「福祉教育研究フォーラム」「高校生と大学生のつどい」「合同ゼミ合宿」などにおいて、人々との出会いやプレゼンテーションの経験を積んだ ③ 3 年生から 2 年間をかけて卒業論文のテーマ設定と先行研究概観、ゼミでのディスカッションを通して論文作成に取り組むとともに、実習支援を行う ④ 4 年生は卒論完成と、進路（就職活動・大学院進学）や実習支援を行います。			
ゼミの特色：まじめで楽しいゼミ、みんなで頑張りみんなで夢を実現するゼミ			
担当教員からのメッセージ			
	子どもの虐待・貧困・低学力が深刻さを増しています。岡多枝子ゼミは、理論的学びと実証的調査・活動の統合を重視、社会福祉士や教員（高校福祉科・特別支援学校教員、中高社会科）やスクールソーシャルワーカー、公務員、企業、NPO を目指す人の試験対策も強力にサポートします。本ゼミから、日本福祉大学始まって以来の「愛知県立高校教員（福祉科）現役合格者」をはじめ、一流企業や公務員試験への現役合格者も多数出ています。 皆さんの夢をともに実現していきましょう。 研究室へもお気軽にどうぞ！		
			